

構造改革特別区域計画

1 構造改革特別区域計画の作成主体の名称

愛知県、名古屋市、瀬戸市、春日井市、豊田市、尾張旭市、長久手町

2 構造改革特別区域の名称

あいち・なごやモノづくり研究開発特区

3 構造改革特別区域の範囲

名古屋市、瀬戸市、春日井市、豊田市、尾張旭市及び長久手町の全域

4 構造改革特別区域の特性

本県は「世界的な産業技術の中核圏域」である名古屋圏の中核をなす産業県として、輸送機器を中心に平成13年まで25年連続製造品出荷額日本一を誇っており、今後ともわが国の「モノづくり」の中核を担うことが期待されている。そうした中であって、「名古屋市及び名古屋東部丘陵地域」は、自動車産業、航空宇宙産業、一般機械産業のほかセラミックス産業など多くの産業集積がみられ、平成13年の製造品出荷額等は14兆円余と県全体34兆5千億円の4割を当地域が占めている。

しかしながら、本県における製造業の事業所数は全国との比較では依然として大きく上回っているものの、平成3年から13年までの10年間で25.6%も減少しており、製造業における急速な空洞化の進展は、本県の産業構造の抜本的な改革を迫られる事態に直面している。今後とも、国内生産のコスト高、国内市場の成熟化等を背景に国際水平分業が一層進んでいくとみられることから、当地域に立地する大学や研究機関等が、名古屋大学や名古屋工業大学を中核施設として、共同研究や研究交流活動を一層活発化させ、その成果としての科学技術を新産業、新事業の創出に活用していくことにより今まで以上に独創的・先端的な工業生産活動を展開していくことが必要である。

(1)先端技術研究を行う大学・研究機関の集積

「名古屋市及び名古屋東部丘陵地域」には名古屋大学、名古屋工業大学をはじめ理工系大学や研究機関が数多く立地しており、民間企業の研究所や国立研究機関では「機械」、「素材」、「生命」等の分野で高い生産技術・研究蓄積がある。また、公設試験研究機関では機械、窯業等工場産業と密接に連携した研究のほか、福祉機器や環境関連など新規・成長分野に係る研究開発が行われている。

本県では、この大学、研究機関が集積している尾張北部から西三河にかけて広がる名古屋東部丘陵地一帯を「あいち学術研究開発ゾーン」と位置づけ、既存集積を生かしながら学術研究開発機能の充実強化を図り、創造的な産業技術の中核圏域のシンボルとなる頭脳拠点の実現をめざしている。その中でも、名古屋市志段味地区では、人に優しい「ヒュー

マンサイエンス」の創造という理念のもと、新産業創造のための研究開発拠点として「なごやサイエンスパーク事業」を進めており、産業技術総合研究所中部センター、理化学研究所パイオ・ミメティックコントロール研究センターなど、日本を代表する研究機関が集積している。

(2)2005 年日本国際博覧会の開催

「名古屋市及び名古屋東部丘陵地域」では 2005 年に「自然の叡智」をテーマとする国際博覧会が開催される予定であり、地球規模の諸課題に取り組む国際会議の開催や最先端の技術を活用した環境調和型の会場整備などに国内外の優秀な人材が結集され、その活発な交流や実験的プロジェクトを通じて、環境・エネルギー、情報通信、福祉など 21 世紀にふさわしい新たな産業を創出する契機となることが期待される。

(3)優れた交通条件

「名古屋市及び名古屋東部丘陵地域」は国土のほぼ中央に位置し、東名・名神高速道路、東海道新幹線等の高速交通網が整備されていることもあって全国各地から比較的容易にアクセスできることから、産業活動において大きな利便性を有する。域内交通についても、名古屋市を中心に道路・鉄道が放射状に整備されるなど恵まれた交通条件にある。

(4)住みやすく働きやすい生活環境

「名古屋市及び名古屋東部丘陵地域」は豊かな自然と都市機能が程よく分散しており、大都市圏の中では比較的高い居住環境を有している。こうしたことから優れた研究者等の人材の受入れ・定着や創造的な研究開発に不可欠な良好な研究環境が確保できる地域といえる。特に、外国人研究者にとって子女の教育という観点から極めて重要な社会インフラであるインターナショナルスクールが「なごやサイエンスパーク」近郊に立地している。

5 構造改革特別区域計画の意義

高度経済成長期以降、本県における輸送機器、一般機械等の加工組立型産業は、技術力の強化や徹底した合理化・省力化により生産性を向上させ、世界的な製造業の集積拠点を形成してきたが、国際水平分業の進展や国内市場の成熟化等を背景とする製造業の空洞化の問題は、本県産業が直面する深刻な課題であると同時に、わが国経済が取り組むべき構造的課題となっている。

国際競争が激化する中で、本県産業が地域の活力の源泉となるとともに、わが国の産業活動をリードしていくためには、自動車など一部の製造業に特化した産業構造を高度化・多様化していく必要がある。

本県では科学技術推進大綱(平成 11 年 3 月策定)の中で、これまでの産業集積と新産業創出の成果の蓄積をもとに、今後成長が期待できる分野として、「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」を戦略的振興分野と位置づけ、地域をあげてその振興を図っていくことにしている。

これらの分野の製造領域を支えるのは、高度なモノづくりの基盤であり、とりわけ「新産業技術」の分野では、この地域には高度な製造技術やシステムを有する自動車、工作機械関連の企業が多数立地しており、大学や研究機関においてコンピュータや情報通信ネットワーク技術を駆使した製造システム、マイクロマシンなど先端的な生産システムの研究開発が進められている。また、国の重点4分野の一つと位置づけられている「ナノテクノロジー」についても、本県では、環境負荷を低減しつつ、今後のモノづくりの高付加価値をもたらす基盤技術ととらえ、産学官が連携したプロジェクト研究を進めている。「新産業技術」のうち材料関連では、金属・セラミックスなどの高い技術力を有する企業が多数立地しており、官民の研究機関においてファインセラミックス、触媒技術など新材料にかかる高度な研究開発が進められている。こうした高度生産システムや新材料等の産業技術集積を生かしながら、産学官連携・交流を一層促進させ、情報通信、ソフトウェア、デザインなど新しい技術との融合を図ることにより、多様な産業分野への展開が可能となる。

そうした中で、「名古屋市及び名古屋東部丘陵地域」に立地する企業は、製造業の一大集積の中で育まれた高度な「モノづくり」の技術とノウハウを生かして、「環境」、「医療・福祉」、「情報通信」など、市場規模拡大が見込まれる分野の開拓に熱心である。

一方、この地域に集積する理工系大学や国等の研究機関では、立地企業が求めている分野の先端技術研究を担い、また、そうした研究成果を起業に役立てようとする産学連携に対して意欲的である。特に今回、教員等の勤務時間内兼業や試験研究施設の使用にかかる規制の特例措置を受けようとする豊田工業高等専門学校は、実践的な技術者の育成に加え、地域の民間企業等の技術的相談に数多く関わってきており、平成15年7月には地域共同テクノセンターをオープンさせ、共同研究や受託研究など産学連携の一層の促進により、地域産業の振興に寄与することをめざしている。さらに、平成6年に設立された科学技術交流財団が地域内外の研究者・技術者を対象とした研究交流事業や共同研究促進事業を実施するとともに、同財団が中核機関となり当地域の大学、企業などとの連携のもとに地域結集型共同研究事業、知的クラスター創成事業等の国の大型受託事業に取り組むなど、地域が一体となって積極的な取組を展開している。

こうした、この地域の最大の特色であり強みでもある高度な「モノづくり」の技術やノウハウを既存産業の高度化や新産業の創出につなげていくためには、外国人を含む優秀な研究者の確保・育成を図るとともに、産学官が連携しやすい環境を整備し、研究交流、共同研究を促進することで、より独創的な発想や優れた研究成果を生み出していくことが肝要であり、構造改革特区を導入することにより、この流れを加速することができる。

大学・研究機関における産学連携機関の整備状況

機 関 名	産 学 連 携 機 関	設置年度
名古屋大学	先端技術共同研究センター	昭和63年度
	ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー	平成7年度
	産学官連携推進本部	平成14年度
	インキュベーション施設	平成14年度
名古屋工業大学	共同研究センター	平成元年度
	大学院ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー	平成8年度

	ものづくりテクノセンター	平成 14 年度
豊田工業高等専門学校	地域共同テクノセンター	平成 14 年度
愛知学院大学	口腔先端科学研究所	平成 8 年度
大同工業大学	産学連携共同研究センター	平成 12 年度
豊田工業大学	企画部研究協力グループ	昭和 60 年度
名城大学	学術研究支援センター	平成 15 年度
中部大学	研究支援センター	平成 14 年度
愛知工業大学	総合技術研究所	平成 4 年度
中京大学	人工知能高等研究所	平成 3 年度
産業技術総合研究所 中部センター	中部産学官連携センター	平成 13 年度

6 構造改革特別区域計画の目標

「名古屋市及び名古屋東部丘陵地域」においては、この地域の高度な「モノづくり」の技術やノウハウをベースとしつつ、地域の大学や研究機関の研究成果を既存産業の一層の振興と新産業分野の創出・育成に活用していくことにより地域の産業競争力の強化を図るとともに、ベンチャー企業の創業を促し引き続きわが国産業の牽引役となり得る創造的な「モノづくり」の一大拠点を形成する。

そのためには、「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」を戦略的研究分野と位置づけ、特区として、国立大学教員等による起業のための研究やコーディネート活動の促進、外国人研究者受入れによる国際的な共同研究体制の構築や起業の促進、国立大学・研究機関の施設利用促進による産学の研究交流活動の促進を図るなど、地域をあげてその振興に努める。

これらの取組に加え、名古屋大学、名古屋工業大学では、近年、学長(総長)の下に迅速かつ一体的な産学官連携推進のための組織を設置するとともに、独立行政法人化後の知的財産の活用・管理を行う体制づくりに着手するなど、産学官連携の促進に積極的に取り組んできている。また、本県では、地域の科学技術施策の効果的・効率的な展開に資することを目的に、産・学・行政・県民による総合的な懇談・審議の場として愛知県科学技術会議を平成 12 年から設置しており、14 年度からその分科会として産学行政連携推進会議を設け、新たな時代に対応した産学官連携のあり方や推進方策について検討を行っている。

こうした取組を進めることにより、大学や研究機関を中心に優秀な研究者が集まり、独創的・先端的な研究が行われ、その成果としての起業などが大学や研究機関の周りで活発化し、多様な産業活動の展開による地域の活性化が期待できる。

戦略的研究分野と主な取組

分野	主な取組	事業シーズ
環 境	地域結集型共同研究事業『循環型環境都市構築のための基盤技術開発』の推進((財)科学技術交流財団・科学技術振興事業団・愛知県・名古屋市、H11～16)、2005 年日本国際博覧会の開催、環境パートナーシップ・CLUB の発足(H12)、資源循環型生産システムに関するシンポジウム・	名古屋大学、愛知県立大学、愛知学院大学、名城大学、愛知工業大学、産業技術総合研究所中部センター

	研究会の開催(名古屋市) など	
健康・医療・福祉	医療・福祉用具製品開発支援(愛知県)、ヒューマンインターフェイス研究会(名古屋市)、国際福祉健康産業展「ウェルフェア」の開催(名古屋市) など	名古屋大学、名古屋工業大学、名古屋市立大学、愛知学院大学、産業技術総合研究所中部センター、理化学研究所バイオ・ミメティックコントロール研究センター
新産業技術	知的クラスター創成事業『ナノテクを利用した環境にやさしいものづくり』の推進((財)科学技術交流財団・文部科学省・愛知県・名古屋市、H14～19) など	名古屋大学、名古屋工業大学、愛知学院大学、大同工業大学、豊田工業大学、名城大学、中部大学、愛知工業大学、産業技術総合研究所中部センター、理化学研究所バイオ・ミメティックコントロール研究センター
情報通信	ITS(高度道路交通システム)関連事業の実施(愛知県 ITS 推進協議会)、あいちベンチャーハウスの設置(愛知県、H15)、ITS 世界会議愛知・名古屋 2004 の開催、大学とベンチャー企業の産学連携研究会(N-cube)の開催(名古屋市) など	名古屋大学、名古屋工業大学、愛知県立大学、名城大学、中部大学、愛知工業大学、中京大学、産業技術総合研究所中部センター、理化学研究所バイオ・ミメティックコントロール研究センター

7 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果

(1)大学・研究機関等発ベンチャー企業

	環境関連	健康・医療・福祉関連	新産業技術関連	情報通信関連	計
現在	4社	4社	3社	6社	17社
5年後	10社	11社	23社	12社	56社

(2)外国人研究者の受入れ

・実績 平成14年度 1,240人

・見込み

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
1,320人	1,391人	1,463人	1,522人	1,579人

(3)共同研究の実施

・実績 平成14年度 648件

・見込み

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
708件	745件	788件	831件	860件

8 特定事業の名称

国立大学教員等の勤務時間内研究成果活用兼業事業(202)

外国人研究者受入れ促進事業(501・502・503)

特定事業等に係る外国人の入国・在留諸申請優先処理事業(504)

特定事業等に係る外国人の永住許可弾力化事業(505)

国の試験研究施設の使用手続きの迅速化事業(704)

国の試験研究施設の使用の容易化事業(705)

9 構造改革特別区域において実施し又はその実施を促進しようとする特定事業に関連する事業
その他の構造改革特別区域計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

科学技術交流センター計画の推進(愛知県)

「あいち学術研究開発ゾーン」構想を推進する先導的かつ中核的なプロジェクトとして「世界的なレベルの産業技術の中核圏域」づくりに不可欠な研究開発機能の強化を図るための計画であり、推進母体となる(財)科学技術交流財団、活動拠点となる科学技術交流センター施設、財団事業を資金面から支援する科学技術振興基金を3本柱として事業を展開している。

科学技術交流センター施設

目的	科学技術に関する交流活動を活発化させることにより、地域から新しい科学技術を創出・発信する拠点として整備する。
事業主体	愛知県
事業期間	平成3年度～
事業規模	敷地面積約16ha、延床面積約24,200㎡
施設内容	中央業務、共同研究支援、会議研修、交流宿泊

なごやサイエンスパーク事業(名古屋市)

- ・目的：人に優しい「ヒューマンサイエンス」の創造という理念のもと、先端科学技術に関する研究、交流、生産の各機能を総合的かつ計画的に集積し、その研究成果を地域の産業振興に役立て、世界に向けて情報発信できる研究開発拠点をめざしている。
- ・実施主体：名古屋市
- ・開始時期：昭和63年
- ・各ゾーン：

ゾーン	進捗状況等
A(公的研究機関等)	研究開発センター(理化学研究所など) H9 開館 先端技術連携リサーチセンター H11 開館 産業技術総合研究所中部センター H13 開館 クリエイション・コア名古屋 H14 開館 中部産学官連携オープンスペースラボ H15 竣工予定 研究支援施設 H16 竣工予定 先端的研究機関 (予定)
B(大学等)	現在、土地区画整理事業により造成中
C(民間研究開発施設等)	H14.8から本格的な企業誘致を開始 (これまで2社の立地が決定)
ふれあい	「市民と先端科学技術のふれあいの場」の整備を検討中

別紙 1

1 特定事業の名称

国立大学教員等の勤務時間内研究成果活用兼業事業（202）

2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

特区内に所在する下記の国立専門学校

3 当該規制の特例措置の適用の開始の日

認定の日から

4 特定事業の内容

特区内において、産学連携に熱心な国立大学等の研究員が自らの研究成果を活用してその事業化に取り組む際に、勤務時間内での兼業を可能とすることにより、事業化までのスピードアップを図るとともに、「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」の分野に係る大学等発ベンチャー企業の創出を促進する。

【事業に関与する主体】

機 関 名	施 設 名	所 在 地	研究開発の分野
豊田工業高等専門学校	地域共同テクノセンター	豊田市栄生町2-1	「環境」、「健康・医療・福祉」、 「新産業技術」、「情報通信」

5 当該規制の特例措置の内容

豊田工業高等専門学校では地域共同テクノセンターを拠点として、民間企業等との共同研究、受託研究等を一層促進することが期待されている。

一方、民間企業等では、「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」の分野に係る新産業創出に向け、先端技術研究を行う大学・研究機関等との共同研究や研究交流などに意欲的である。

そうした中で、国立大学教員等の兼業については勤務時間外での活動が求められており、国立大学等の研究員が自らの研究成果を活用して起業する際には、営業活動や起業の手続きなど勤務時間外では実施できない活動も多く、勤務時間内での兼業を可能とすることが必要である。

本特区では、当該特定事業を適用することにより、民間企業等における研究成果の活用を円滑にし、産学連携の促進による新産業の創出や大学等発ベンチャーの起業が期待できる。

別紙 2

1 特定事業の名称

外国人研究者受入れ促進事業（501・502・503）

2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

下記4の施設において研究活動または研究事業活動に従事又は従事予定の外国人研究者及びその家族

3 当該規制の特例措置の適用の開始の日

認定の日から

4 特定事業の内容

特区内に所在する大学、研究機関において、「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」の分野に係る外国人研究者の受入れを促進することにより、即戦力となる国際レベルの優秀な人材を確保し、受入れ先における研究開発の活発化とその成果を生かした新産業の創出を図る。

【事業に関与する主体】*この表に記載の施設は、各特定分野の研究開発に係る中核施設である。

機関名 名古屋大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
工学研究科	名古屋市千種区不老町	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[環境] 自然界における造形物が有する固有の構造や形成過程を解明することで、人間生活に有用な材料を人工的に製造するプロセスを創成する。構造材料製造プロセスを新しい視点で省エネ、環境に適した方向への転換を目指している。</p> <p>[健康・医療・福祉] 機能的磁性微粒子を利用したがん診断、治療の臨床応用に向けた開発を行っている。</p> <p>[新産業技術] 微細加工・極薄膜のナノプロセス技術開発の中核的研究施設であり、プラズマ、デバイス、システムという異なる分野の連携により、ナノ情報デバイスを創出する。</p> <p>[情報通信] 聞く技術と見る技術を融合することにより知的なメディア処理機能の実現を目指している。</p>
生命農学研究科	同上	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[環境] 遺伝子機能及びタンパク質の構造と機能の解明を中心とした植物ポストゲノムバイオサイエンスを展開しており、次世代型植物バイオサイエンスの中核的研究施設として世界的な知的財産の構築を目指した研究を行っている。また、飢餓、環境破壊等の環境問題の解決に取り組む人材を養成するための研究体制や環境の先端化、高度化を進めている。</p> <p>[健康・医療・福祉] 臓器復元、遺伝子治療、遺伝子を動物に導入する有用物質をつくるトランスジェニック技術における</p>

			<p>染色体の仕組みの研究を行っている。</p> <p>[新産業技術] 遺伝子機能及びタンパク質の構造と機能の解明を中心とした植物ポストゲノムバイオサイエンスを展開し、新産業技術分野の研究を行っている。</p> <p>[情報通信] 多元情報制御や分化情報制御等生物情報制御を行っている。</p>
法学研究科	同上	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[環境] [健康・医療・福祉] [新産業技術] [情報通信]</p> <p>アジアにおける体制移行国を中心とする国々の法と政治に関する研究、法整備支援ニーズの解析と支援方法の開発、法整備に携わる人的養成のためのプロジェクト実施を通じて、環境、健康・医療・福祉、新産業技術、情報通信分野における知的財産の保護、産学交流、産業振興に係る法律面での国際的研究コーディネートセンターとして、また地域の中核的研究施設としての役割を果たしている。</p>
教育発達科学研究科	同上	「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[健康・医療・福祉] 医学系研究科との連携を図りながら少年犯罪に対するプロセスの解明する研究を中心として人間の心理的・社会的・身体的変化に対する要因を調査・研究する中で社会的犯罪に対する予防プログラムの作成等を行い、社会との連携を強化していく。</p> <p>[新産業技術] 人間の認知機能について、コンピュータ・サイエンス等の成果を背景に、社会的・文化的な側面も視野に入れながら究明する。</p> <p>[情報通信] コンピュータ、マルチメディア、情報ネットワーク等の教育利用と情報教育・メディア教育に関する中核的研究施設として実証的研究を行うとともに、教育の情報化に関する基礎理論の構築を行う。</p>
環境医学研究所	同上	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[環境][健康・医療・福祉] 国立大学で唯一の「宇宙医学」実験センターを擁し、特殊環境シミュレータを用いて気候変動、酸素ストレス、内分泌かく乱物質、オゾン層破壊、長期宇宙滞在、遺伝子的人為的操作に関する中核的研究を行っている。</p> <p>[新産業技術][情報通信] 環境への生体適用に関して、遺伝子による調節、神経系による調節の視点からの研究及び宇宙医学実験センターでの特殊環境下における各種シミュレータ等を実施し、宇宙医学、重力生物学、気象医学の研究を行う。</p>
理工科学総合研究センター	同上	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[環境]、[健康・医療・福祉] 従来課題ごとに細分化されてきた研究テーマを人間・自然と調和した新しい科学技術の創成という観点から科学技術の動向に柔軟に対応できる新しい研究システムのもとに、材料、エネルギー、環境システムの研究についての中核的研究施設として、関連分野を多面的・総合的視点から掘り下げた</p>

			<p>新たな発想に基づく人間と自然が調和した科学技術の創成を目指す。</p> <p>[環境][新産業技術][情報通信]</p> <p>ナノ加工・評価・計測技術開発、計測用スマートセンター開発、環境調和型高機能ナノ材料開発の融合により、装置自らが最適条件を保つよう自己診断・自己修復・自己制御する自立型ナノ製造装置を開発する。</p>
情報連携基盤センター	同上	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[環境] [情報通信]</p> <p>ユビキタス社会における情報基盤として、携帯端末・組み込み機器におけるソフトウェアの開発において国際競争力があり中核的研究施設である。今後PDAや情報家電等の情報端末間での安全で快適な情報交換を実現する基盤ソフトウェアを開発する。</p> <p>[健康・医療・福祉]</p> <p>多言語ユビキタス災害情報システムの開発や医療・福祉分野へのIT応用を研究する。</p> <p>[新産業技術]</p> <p>スーパーコンピュータを使用した大規模な計算の実行、そして、その結果である大量出力の効率的な処理・解析により、科学・工学的研究をより円滑に進めるための環境をつくることを研究し実現する。</p>
農学国際教育研究センター	同上	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[環境] [健康・医療・福祉] [新産業技術]</p> <p>環境・食糧・農業などの農学領域である国際的諸問題を実践的に解決する人づくり協力のプロジェクトと手法を開発し、国内外での人材養成を実現するためのナショナル・センターとしての機能を有しており、同時に中核的研究施設として、環境、健康・医療・福祉の問題へ対応するとともに、新産業技術の振興も図っている。</p> <p>[情報通信]</p> <p>知的・人的資源や協力経験・要請課題等のデータベース構築と評価を進め、効果の高いプロジェクト開発を行い、また各分野の協力ネットワークを開発する。</p>
生物機能開発利用研究センター	同上	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[環境] [健康・医療・福祉] [新産業技術]</p> <p>細胞表面に存在する膜ドメインを介する情報伝達における糖鎖の役割の解明等、機能性糖鎖についての中核的な研究施設であり、医学的・工学的・農学的応用分野に利用する中で環境、健康・医療・福祉の問題へ対応するとともに、新産業技術分野への適用も図っていく。</p> <p>[情報通信]</p> <p>高等動植物の生命現象に関わる高次生物機能の解明をする。</p>
医学系研究科	名古屋市昭和区鶴舞町65	「健康・医療・福祉」	<p>[健康・医療・福祉]</p> <p>名古屋市鶴舞地区において、ライフサイエンス分野と工学(生命農学)等の分野の連携・融合を図る研究の中核的な役割をはたしており、医療機器、先端医療、情報分野で事業化、ベンチャー創出を</p>

			展開している。
--	--	--	---------

機関名 名古屋工業大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
工学研究科	名古屋市昭和区御器所町	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[環境] エネルギーの再生・再利用あるいは循環を基本とする循環型スタイルの確立が社会の潮流となりつつある情勢を踏まえ、循環科学技術を創成し、循環型社会の実現に向けた研究に取り組んでいる。</p> <p>[健康・医療・福祉] 名古屋大学医学系研究科とも連携し、工学と医学の異分野融合により新しい学問領域の開拓と新産業の創出を推進しており、名古屋市鶴舞地区を中心に医学工学連携の中核的な役割を担っている。</p> <p>[新産業技術] 知的クラスター創成事業、21世紀COEプログラムを活用したナノテクノロジーの研究を推進し、新産業、ベンチャーの連鎖的発生環境の形成を目指し、併せて製造業全体の国際競争力の向上を図る。</p> <p>[情報通信] 人類社会環境の発展と調和を目指し先端的高度情報化の社会形成のための研究開発を行っているが、今後は、医療工学連携とともにユビキタスネットワーク社会の実現へと発展させていく。</p>
計測分析センター	同上	「新産業技術」	<p>[新産業技術] ナノテクノロジー研究のための精密測定機器及びその利用促進を行っており、中核的研究施設として地域との連携により地域全体の発展を目指している。</p>
共同研究センター	同上	「新産業技術」	<p>[新産業技術] リエゾニングについて地域の中核的研究施設としてナノ・バイオテクノロジー、エネルギー利用高度化材料技術、セラミックス等の新産業技術の開発を支援する。</p>
極微デバイス機能システム研究センター	同上	「新産業技術」	<p>[新産業技術] 極微細な構造をした新規半導体材料及び新機能デバイス・システムの研究開発、産業・生産技術についての中核的研究施設であり、その技術の確立を行う。</p>

機関名 愛知県立大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
情報科学研究科	愛知郡長久手町大字熊張字茨ヶ廻間1522-3	「環境」、「情報通信」	<p>[環境] 地理情報システムによる森林成長解析技術に関する中核的研究施設であり、里山の緑の保全システムの開発や里山の緑及び内湾域環境の保全システムの確立を行う。</p> <p>[情報通信] 移動体通信と有線通信の融合システムの開発を行っている。</p>

機関名 名古屋市立大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
医学研究科	名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1	「健康・医療・福祉」	[健康・医療・福祉] 基礎医学・臨床医学をそれぞれ融合した4専攻により、相補性ペプチド剤の開発、ヒトIgM抗体によるHIV治療法の開発、血漿HDL増加剤の開発など神経科学、悪性腫瘍、感染症、生活習慣病などの基礎的、臨床的研究を通じて中核的研究施設としての役割を果たしており、国際的にも高い評価を得ている。
薬学研究科	名古屋市瑞穂区田辺通3-1	「健康・医療・福祉」	[健康・医療・福祉] 創薬生命科学、医療機能薬学の2専攻により、合成研究分野、薬剤・製剤、物理系分野、疾病予防治療分野、分子・細胞生物学分野において中核的研究施設としての研究成果をあげている。
経済学研究科	同上	「新産業技術」	[新産業技術] 新産業技術分野についての技術移転、産学交流の推進など、科学技術政策や経済協力のあり方について中核的な研究を行い、国内企業の海外進出における競争力の強化を目指す実証的な研究を行っている。
人間文化研究科	同上	「健康・医療・福祉」	[健康・医療・福祉] 発達認知神経科学的な観点から乳児の気質的個人差と環境要因の関係の研究について中核的研究施設であり、「気質的扱いにくさ」を持つ乳児を扱うためのノウハウと知育玩具の開発を産学の連携により進める。
芸術工学研究科	名古屋市千種区北千種2丁目1-10	「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	[健康・医療・福祉] ユニバーサルデザインの観点から建物の安全や子供の視点からの建物環境、景観デザイン的设计思想の構築等を行う中核的研究施設であり、外国人研究者との共同研究により、多角的な視点からのデザインの構築が可能となる。 [新産業技術] 生体情報を利用したヒューマンインターフェース設計、果実の茎から紙と布を製造する技術の開発等を行う。 [情報通信] 情報処理・情報工学的手法のもと幅広い設計問題を取り扱い、画像も含めた大規模データベースから抽出される最適設計に対する解法等の研究を行っている。
システム自然科学研究科	名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1	「新産業技術」、「情報通信」	[新産業技術] たんぱく質・核酸の構造と機能に関する基礎研究の中核的研究施設であり、微量測定系の開発から遺伝子工学に基づくたんぱく質産生系の構築まで広範な研究を行う。 [情報通信] ヒューマンインターフェースの基礎と応用の研究を重点的に行っており、そこで生み出されるハードウェア、ITシステムの研究成果は産学共同により評価し改良を加え、新技術として社会に還元していく。

機関名 愛知学院大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
歯学研究科	名古屋市千種区楠元町1-100	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」	<p>[環境] 口腔内の再現や計測は、石膏による模型作成にて行われているが、これに代わるものとして映像による保存の研究開発を行っている。今後は企業連携によって課題解決を目指していく。</p> <p>[健康・医療・福祉] 骨の誘導・再生の研究に関する中核的な研究施設であり、口腔・顎顔面関連病変に対する先端的及びカスタムメイド医療を目指した包括的研究を実施している。</p> <p>[新産業技術] 高融点生体用特殊合金の溶製・鑄造連続システムの開発を行っている。現在、経済産業省地域新生コンソーシアム事業を活用して、企業との共同研究を実施しており実用化を目指している。</p>
口腔先端科学研究所	同上	「健康・医療・福祉」、「新産業技術」	<p>[健康・医療・福祉] 生体親和性を備える歯科用合金の開発とその加工技術に関する中核的研究施設であり、今後これらを臨床へ普及させる方法の開発を行っていく。</p> <p>[新産業技術] 従来の概念を変える性質を持つ材料の歯科領域への適用に着目して、新たな歯科医療用材料の開発を行っており、企業との連携によって実用化を目指している。</p>

機関名 大同工業大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
工学研究科	名古屋市南区滝春町10-3	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[環境] 自然エネルギーを活用した新しい都市型の風力発電の研究開発を行う。</p> <p>[健康・医療・福祉] 高齢者施設の建設材料の脱臭効果を明らかにし、設計資料を整備する。</p> <p>[新産業技術] 燃料電池研究について地域の核となる研究施設であり、平成14年度より固体高分子形燃料電池システム技術開発事業(NEDOの委託事業)の一環として民間企業と共同研究を実施している。</p> <p>[情報通信] 地域社会に密着した幅広い範囲を対象にシステム構築のみでなく情報機器と人との人間味豊かな関わりに重点を置いた研究を行う。</p>

機関名 豊田工業大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
工学研究科	名古屋市天白区久方2-12-1	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[環境] 文部科学省学術フロンティア推進事業を活用し、薄膜太陽電池、高効率太陽電池に関する基礎的研究、デバイス物理に基づく光・電子機能デバイ</p>

		<p>スの創成等の研究を行っている。</p> <p>[健康・医療・福祉] 文部科学省ハイテク・リサーチ・センター整備事業を活用し、ウェアラブルロボットを代表とする人間共存型ロボットの提案開発、及びシステム化技術に関する研究を行っている。</p> <p>[新産業技術] 文部科学省学術フロンティア推進事業を活用し、紫外光記録磁性薄膜先端材料の研究・開発や原子制御を行った磁性人工格子膜による超高密度磁気記録材料の研究を行っている。走査トンネル顕微鏡をはじめとした固体表面の構造、電子状態、組成などをナノレベルで観察する技術を有しており、文部科学省ハイテク・リサーチ・センター整備事業を活用し、顕微システムを使用したガス分子や金属原子との接触により新しい機能の発現を目的とした研究を行っている。</p> <p>[情報通信] 文部科学省ハイテク・リサーチ・センター整備事業を活用し、高機能シリカガラスの開発、光非線形ガラス材料の研究、超広帯域光増幅媒体の研究などのフォトニクス材料の研究を行っている。</p>
--	--	--

機関名 名城大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
理工学研究科	名古屋市天白区塩釜口1-501	「新産業技術」	<p>[新産業技術] ナノカーボン及びナノナイトライド分野での世界最高レベルの研究者を擁する中核的研究施設であり、文部科学省21世紀 COE プログラムを活用してナノ構造体の産業化のためのナノファクトリー創造センターの形成、ナノ構造体作製の世界的研究拠点形成に向けた研究開発を実施している。</p>
農学研究科	同上	「環境」、「新産業技術」	<p>[環境] 微生物の機能を利用した環境制御という分野において中核的研究施設であり、文部科学省ハイテク・リサーチ・センター整備事業を活用して環境問題の課題解決や新産業発展へ寄与することを目指している。</p> <p>[新産業技術] 微生物の機能を利用した新素材の実用化を目指している。</p>
総合研究所	同上	「環境」	<p>[環境] 環境耐性生物の開発において中核的研究を行っており、文部科学省ハイテク・リサーチ・センター整備事業を活用し、多数の遺伝子を導入した形質転換植物を作製し、その環境耐性機構の分子レベルでの解明を目指し学際的研究を推進している。</p>
薬学研究科	名古屋市天白区八事山150	「健康・医療・福祉」	<p>[健康・医療・福祉] 文部科学省ハイテク・リサーチ・センター整備事業を活用し、医薬品創製のためのシーズ分子探索、疾病の発症機構解明と治療法確立、及び医薬品副作用情報データベースの一層の充実を図る。</p>

機関名 南山大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
数理情報研究科 (2004年開設に向け申請中)	瀬戸市せいれい町27	「情報通信」	[情報通信] コンピュータネットワークの性能評価、ネットワークを利用する大規模ソフトウェア、機器組み込みソフトウェア、無線アンテナ、不正アクセス検出システム等について、中核的研究施設として理論面はもとより、実用を目指した研究開発を行っている。

機関名 中部大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
工学研究科	春日井市松本町1200	「新産業技術」、 「情報通信」	[新産業技術] 低コスト化と高効率化が可能なカーボン薄膜太陽電池の研究開発について中核的研究施設であり、革新的次世代太陽光発電システム技術研究開発(NEDO)等のプロジェクトを活用し実用化を目指している。 [情報通信] ネットワークシステム構築法、ネットワークサービス構築法について、実用化まで含めた一連の研究開発を関連企業と連携して進めることにより、成果を大学内に留めることなく近隣地域の情報通信産業の育成を図っていく。

機関名 愛知工業大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
工学研究科	豊田市八草町八千草1247	「環境」、「新産業技術」、 「情報通信」	[環境] [新産業技術] [情報通信] 21世紀を支えるための新材料開発に関する中核的な研究施設であり、環境、エネルギー、情報の3グループに別けて、研究を推進している。 環境分野では、環境保全改良に資する光触媒を始めとした材料の開発を行っている。 新産業技術分野では、二次電池の高性能化のための新規材料の開発等を行っている。 情報通信分野では、大容量で高速な有機光機能素子の実用化研究を行っている。

機関名 中京大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
情報科学研究科	豊田市貝津町床立101	「情報通信」	[情報通信] 人工知能の研究において中核的な研究施設であり、人工知能の研究開発のほかパターン情報処理、ハードウェアとソフトウェアの融合、音楽ソフトデザイン、デジタル信号処理、リアルタイム音楽ネットワーク、非リアルタイムのオーディオ信号処理技術における高度な技術の研究を行っている。

機関名 名古屋産業大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
環境マネジメント研究科 (2004年開設に向け申請)	尾張旭市新居町3255-5	「環境」、「情報通信」	[環境] 県内で最初にISO14001の認証取得した大学として、経営面や社会活動面からの環境問題の研究について中核的な研究施設である。環境省地球環

中)			境総合推進費のプロジェクトを活用して、循環型社会システムのあり方について提言を行っていく。 [情報通信] 産官学共同研究の一環としてGISを活用した地域防災計画の策定を行っている。
----	--	--	--

機関名 産業技術総合研究所（独立行政法人）

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
中部センター	名古屋市守山区下志段味穴ヶ洞 2266-98	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	[環境] 光触媒の研究について中核的な研究施設であり、これを利用した二酸化炭素の固定、水素エネルギー利用、排ガス浄化、調光ガラスの開発など地球環境問題の解決に幅広く取り組んでおり、光触媒及び植物成長剤においては既にベンチャー企業として企業化され、今後、更に進展が期待される。 [健康・医療・福祉] リン酸三カルシウムの人体への応用研究を行い人工骨や快適義歯床の開発を行っている。 [新産業技術] セラミックス、金属材料、複合材料などの新材料の創製を図り、高付加価値の材料設計を行っている。 [情報通信] コンピュータによるジルコニア等焼結体の分子構造の三次元シミュレーションを行うことにより、焼結以前に、構造、機械的強度、特質等が予測可能となり、今後の材料開発の進展が期待できる。
シナジーマテリアル研究センター	名古屋市守山区下志段味穴ヶ洞 2268-1	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	同 上
瀬戸サイト	瀬戸市西茨町 110 番地	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	同 上

機関名 理化学研究所(特殊法人)

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
バイオ・ミメティックコントロール研究センター	名古屋市守山区大字下志段味字穴ヶ洞 2271-130	「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	[健康・医療・福祉] バイオミメティックに関する研究の中核的研究施設であり、人間の生活を支援するため、人間とのやわらかい接触や未知の環境で柔軟に対応できる高機能ロボットを構築し、生活支援や介護での応用などを図る。 [新産業技術] 生物の動作原理・制御機能を工学的に模倣することにより、未知の状況に柔軟に対応する能力を持つ高機能ロボットの開発を行っている。 [情報通信] 複数のコンピュータによる分散制御、ネットワークを介した遠隔操作、高速画像処理、音源分離等の研究を行っている。

5 当該規制の特例措置の内容

《法第 15 条第 1 項第 1 号に該当するとした根拠》

この地域には、10を超える理工系の大学院を有する大学が立地しているほか、その他の大学、官民の研究機関などが多数集積している。民間企業の研究機関や国立研究機関では「機械」、「素材」、「生命」等の分野で高い生産技術・研究蓄積があり、公設試験研究機関では機械、窯業等工場産業と密接に連携した研究のほか、福祉機器や環境関連など新規成長分野に係る研究開発が行われている。これらの研究機関では、企業が求めている分野の先端技術研究を多く担うとともに、そうした研究成果を実業に生かそうとする産学連携に対して意欲的である。

また、この地域には、本県製造業の約4割を占める企業が立地しており、これらの企業は、自動車など製造業の一大集積の中で育まれた既存の「モノづくり」の技術とノウハウを生かして、「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」など、新産業分野の開拓に熱心である。

こうした、この地域の高度な「モノづくり」の技術とノウハウをベースとしつつ、地域の理工系大学や研究機関の技術研究の成果を導入して、新産業分野を育成していくことにより、地域の産業競争力の強化を図ることができる。

《法第 15 条第 1 項第 2 号に該当するとした根拠》

社会経済のグローバル化に伴い、研究開発部門においても、時代にふさわしい教養、専門知識を持った優秀な人材が世界中で求められており、大学や研究機関では、こうした人材の受入れ環境を整備することが独創的・創造的な研究成果に直結する課題となっている。

この地域は、多くの大学、研究機関の集積を背景として、千数百人に及ぶ外国人研究者が滞在する国際的な研究開発ゾーンを形成しており、今後とも、外国人研究者の受入れは増加すると見込まれる。そうした中で、外国人研究者受入れ促進事業等に基づく措置を実施することにより、大学、研究機関に勤務する優秀な外国人研究者が大幅に増加し、知的刺激を通じて研究開発の活性化が図られるとともに、研究開発プロジェクトへの参加等を通じてその研究成果を活用した新たな事業を特区内で行うことが考えられ、「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」の研究開発分野に関連する産業の発展が相当程度見込まれる。

別紙 3

1 特定事業の名称

特定事業等に係る外国人の入国・在留諸申請優先処理事業（504）

2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

下記4の施設において研究活動または研究事業活動に従事又は従事予定の外国人研究者及びその家族

3 当該規制の特例措置の適用の開始の日

認定の日から

4 特定事業の内容

特区内に所在する大学、研究機関において、「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」の分野に係る外国人研究者の受入れを促進することにより、即戦力となる国際レベルの優秀な人材を確保し、受入れ先における研究開発の活発化とその成果を活かした新産業の創出を図る。

【事業に関与する主体】* この表に記載の施設は、各特定分野の研究開発に係る中核施設である。
機関名 名古屋大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
工学研究科	名古屋市千種区不老町	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[環境] 自然界における造形物が有する固有の構造や形成過程を解明することで、人間生活に有用な材料を人工的に製造するプロセスを創成する。構造材料製造プロセスを新しい視点で省エネ、環境に適した方向への転換を目指している。</p> <p>[健康・医療・福祉] 機能的磁性微粒子を利用したがん診断、治療の臨床応用に向けた開発を行っている。</p> <p>[新産業技術] 微細加工・極薄膜のナノプロセス技術開発の中核的研究施設であり、プラズマ、デバイス、システムという異なる分野の連携により、ナノ情報デバイスを創出する。</p> <p>[情報通信] 聞く技術と見る技術を融合することにより知的なメディア処理機能の実現を目指している。</p>
生命農学研究科	同上	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[環境] 遺伝子機能及びタンパク質の構造と機能の解明を中心とした植物ポストゲノムバイオサイエンスを展開しており、次世代型植物バイオサイエンスの中核的研究施設として世界的な知的財産の構築を目指した研究を行っている。また、飢餓、環境破壊等の環境問題の解決に取り組む人材を養成するための研究体制や環境の先端化、高度化を進めている。</p> <p>[健康・医療・福祉] 臓器復元、遺伝子治療、遺伝子を動物に導入する有用物質をつくるトランスジェニック技術における</p>

			<p>染色体の仕組みの研究を行っている。</p> <p>[新産業技術] 遺伝子機能及びタンパク質の構造と機能の解明を中心とした植物ポストゲノムバイオサイエンスを展開し、新産業技術分野の研究を行っている。</p> <p>[情報通信] 多元情報制御や分化情報制御等生物情報制御を行っている。</p>
法学研究科	同上	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[環境] [健康・医療・福祉] [新産業技術] [情報通信]</p> <p>アジアにおける体制移行国を中心とする国々の法と政治に関する研究、法整備支援ニーズの解析と支援方法の開発、法整備に携わる人的養成のためのプロジェクト実施を通じて、環境、健康・医療・福祉、新産業技術、情報通信分野における知的財産の保護、産学交流、産業振興に係る法律面での国際的研究コーディネートセンターとして、また地域の中核的研究施設としての役割を果たしている。</p>
教育発達科学研究科	同上	「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[健康・医療・福祉] 医学系研究科との連携を図りながら少年犯罪に対するプロセスの解明する研究を中心として人間の心理的・社会的・身体的変化に対する要因を調査・研究する中で社会的犯罪に対する予防プログラムの作成等を行い、社会との連携を強化していく。</p> <p>[新産業技術] 人間の認知機能について、コンピュータ・サイエンス等の成果を背景に、社会的・文化的な側面も視野に入れながら究明する。</p> <p>[情報通信] コンピュータ、マルチメディア、情報ネットワーク等の教育利用と情報教育・メディア教育に関する中核的研究施設として実証的研究を行うとともに、教育の情報化に関する基礎理論の構築を行う。</p>
環境医学研究所	同上	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[環境][健康・医療・福祉] 国立大学で唯一の「宇宙医学」実験センターを擁し、特殊環境シミュレータを用いて気候変動、酸素ストレス、内分泌かく乱物質、オゾン層破壊、長期宇宙滞在、遺伝子的人為的操作に関する中核的研究を行っている。</p> <p>[新産業技術][情報通信] 環境への生体適用に関して、遺伝子による調節、神経系による調節の視点からの研究及び宇宙医学実験センターでの特殊環境下における各種シミュレータ等を実施し、宇宙医学、重力生物学、気象医学の研究を行う。</p>
理工科学総合研究センター	同上	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[環境]、[健康・医療・福祉] 従来課題ごとに細分化されてきた研究テーマを人間・自然と調和した新しい科学技術の創成という観点から科学技術の動向に柔軟に対応できる新しい研究システムのもとに、材料、エネルギー、環境システムの研究についての中核的研究施設として、関連分野を多面的・総合的視点から掘り下げた</p>

			<p>新たな発想に基づく人間と自然が調和した科学技術の創成を目指す。</p> <p>[環境][新産業技術][情報通信]</p> <p>ナノ加工・評価・計測技術開発、計測用スマートセンター開発、環境調和型高機能ナノ材料開発の融合により、装置自らが最適条件を保つよう自己診断・自己修復・自己制御する自立型ナノ製造装置を開発する。</p>
情報連携基盤センター	同上	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[環境] [情報通信]</p> <p>ユビキタス社会における情報基盤として、携帯端末・組み込み機器におけるソフトウェアの開発において国際競争力があり中核的研究施設である。今後PDAや情報家電等の情報端末間での安全で快適な情報交換を実現する基盤ソフトウェアを開発する。</p> <p>[健康・医療・福祉]</p> <p>多言語ユビキタス災害情報システムの開発や医療・福祉分野へのIT応用を研究する。</p> <p>[新産業技術]</p> <p>スーパーコンピュータを使用した大規模な計算の実行、そして、その結果である大量出力の効率的な処理・解析により、科学・工学的研究をより円滑に進めるための環境をつくることを研究し実現する。</p>
農学国際教育研究センター	同上	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[環境] [健康・医療・福祉] [新産業技術]</p> <p>環境・食糧・農業などの農学領域である国際的諸問題を実践的に解決する人づくり協力のプロジェクトと手法を開発し、国内外での人材養成を実現するためのナショナル・センターとしての機能を有しており、同時に中核的研究施設として、環境、健康・医療・福祉の問題へ対応するとともに、新産業技術の振興も図っている。</p> <p>[情報通信]</p> <p>知的・人的資源や協力経験・要請課題等のデータベース構築と評価を進め、効果の高いプロジェクト開発を行い、また各分野の協力ネットワークを開発する。</p>
生物機能開発利用研究センター	同上	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[環境] [健康・医療・福祉] [新産業技術]</p> <p>細胞表面に存在する膜ドメインを介する情報伝達における糖鎖の役割の解明等、機能性糖鎖についての中核的な研究施設であり、医学的・工学的・農学的応用分野に利用する中で環境、健康・医療・福祉の問題へ対応するとともに、新産業技術分野への適用も図っていく。</p> <p>[情報通信]</p> <p>高等動植物の生命現象に関わる高次生物機能の解明をする。</p>
医学系研究科	名古屋市昭和区鶴舞町65	「健康・医療・福祉」	<p>[健康・医療・福祉]</p> <p>名古屋市鶴舞地区において、ライフサイエンス分野と工学(生命農学)等の分野の連携・融合を図る研究の中核的な役割をはたしており、医療機器、先端医療、情報分野で事業化、ベンチャー創出を</p>

			展開している。
--	--	--	---------

機関名 名古屋工業大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
工学研究科	名古屋市昭和区御器所町	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[環境] エネルギーの再生・再利用あるいは循環を基本とする循環型スタイルの確立が社会の潮流となりつつある情勢を踏まえ、循環科学技術を創成し、循環型社会の実現に向けた研究に取り組んでいる。</p> <p>[健康・医療・福祉] 名古屋大学医学系研究科とも連携し、工学と医学の異分野融合により新しい学問領域の開拓と新産業の創出を推進しており、名古屋市鶴舞地区を中心に医学工学連携の中核的な役割を担っている。</p> <p>[新産業技術] 知的クラスター創成事業、21世紀COEプログラムを活用したナノテクノロジーの研究を推進し、新産業、ベンチャーの連鎖的発生環境の形成を目指し、併せて製造業全体の国際競争力の向上を図る。</p> <p>[情報通信] 人類社会環境の発展と調和を目指し先端的高度情報化の社会形成のための研究開発を行っているが、今後は、医療工学連携とともにユビキタスネットワーク社会の実現へと発展させていく。</p>
計測分析センター	同上	「新産業技術」	<p>[新産業技術] ナノテクノロジー研究のための精密測定機器及びその利用促進を行っており、中核的研究施設として地域との連携により地域全体の発展を目指している。</p>
共同研究センター	同上	「新産業技術」	<p>[新産業技術] リエゾニングについて地域の中核的研究施設としてナノ・バイオテクノロジー、エネルギー利用高度化材料技術、セラミックス等の新産業技術の開発を支援する。</p>
極微デバイス機能システム研究センター	同上	「新産業技術」	<p>[新産業技術] 極微細な構造をした新規半導体材料及び新機能デバイス・システムの研究開発、産業・生産技術についての中核的研究施設であり、その技術の確立を行う。</p>

機関名 愛知県立大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
情報科学研究科	愛知郡長久手町大字熊張字茨ヶ廻間1522-3	「環境」、「情報通信」	<p>[環境] 地理情報システムによる森林成長解析技術に関する中核的研究施設であり、里山の緑の保全システムの開発や里山の緑及び内湾域環境の保全システムの確立を行う。</p> <p>[情報通信] 移動体通信と有線通信の融合システムの開発を行っている。</p>

機関名 名古屋市立大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
医学研究科	名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1	「健康・医療・福祉」	[健康・医療・福祉] 基礎医学・臨床医学をそれぞれ融合した4専攻により、相補性ペプチド剤の開発、ヒトIgM抗体によるHIV治療法の開発、血漿HDL増加剤の開発など神経科学、悪性腫瘍、感染症、生活習慣病などの基礎的、臨床的研究を通じて中核的研究施設としての役割を果たしており、国際的にも高い評価を得ている。
薬学研究科	名古屋市瑞穂区田辺通3-1	「健康・医療・福祉」	[健康・医療・福祉] 創薬生命科学、医療機能薬学の2専攻により、合成研究分野、薬剤・製剤、物理系分野、疾病予防治療分野、分子・細胞生物学分野において中核的研究施設としての研究成果をあげている。
経済学研究科	同上	「新産業技術」	[新産業技術] 新産業技術分野についての技術移転、産学交流の推進など、科学技術政策や経済協力のあり方について中核的な研究を行い、国内企業の海外進出における競争力の強化を目指す実証的な研究を行っている。
人間文化研究科	同上	「健康・医療・福祉」	[健康・医療・福祉] 発達認知神経科学的な観点から乳児の気質的個人差と環境要因の関係の研究について中核的研究施設であり、「気質的扱いにくさ」を持つ乳児を扱うためのノウハウと知育玩具の開発を産学の連携により進める。
芸術工学研究科	名古屋市千種区北千種2丁目1-10	「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	[健康・医療・福祉] ユニバーサルデザインの観点から建物の安全や子供の視点からの建物環境、景観デザイン的设计思想の構築等を行う中核的研究施設であり、外国人研究者との共同研究により、多角的な視点からのデザインの構築が可能となる。 [新産業技術] 生体情報を利用したヒューマンインターフェース設計、果実の茎から紙と布を製造する技術の開発等を行う。 [情報通信] 情報処理・情報工学的手法のもと幅広い設計問題を取り扱い、画像も含めた大規模データベースから抽出される最適設計に対する解法等の研究を行っている。
システム自然科学研究科	名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1	「新産業技術」、「情報通信」	[新産業技術] たんぱく質・核酸の構造と機能に関する基礎研究の中核的研究施設であり、微量測定系の開発から遺伝子工学に基づくたんぱく質産生系の構築まで広範な研究を行う。 [情報通信] ヒューマンインターフェースの基礎と応用の研究を重点的に行っており、そこで生み出されるハードウェア、ITシステムの研究成果は産学共同により評価し改良を加え、新技術として社会に還元していく。

機関名 愛知学院大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
歯学研究科	名古屋市千種区楠元町1-100	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」	<p>[環境] 口腔内の再現や計測は、石膏による模型作成にて行われているが、これに代わるものとして映像による保存の研究開発を行っている。今後は企業連携によって課題解決を目指していく。</p> <p>[健康・医療・福祉] 骨の誘導・再生の研究に関する中核的な研究施設であり、口腔・顎顔面関連病変に対する先端的及びカスタムメイド医療を目指した包括的研究を実施している。</p> <p>[新産業技術] 高融点生体用特殊合金の溶製・鑄造連続システムの開発を行っている。現在、経済産業省地域新生コンソーシアム事業を活用して、企業との共同研究を実施しており実用化を目指している。</p>
口腔先端科学研究所	同上	「健康・医療・福祉」、「新産業技術」	<p>[健康・医療・福祉] 生体親和性を備える歯科用合金の開発とその加工技術に関する中核的研究施設であり、今後これらを臨床へ普及させる方法の開発を行っていく。</p> <p>[新産業技術] 従来の概念を変える性質を持つ材料の歯科領域への適用に着目して、新たな歯科医療用材料の開発を行っており、企業との連携によって実用化を目指している。</p>

機関名 大同工業大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
工学研究科	名古屋市南区滝春町10-3	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[環境] 自然エネルギーを活用した新しい都市型の風力発電の研究開発を行う。</p> <p>[健康・医療・福祉] 高齢者施設の建設材料の脱臭効果を明らかにし、設計資料を整備する。</p> <p>[新産業技術] 燃料電池研究について地域の核となる研究施設であり、平成14年度より固体高分子形燃料電池システム技術開発事業(NEDOの委託事業)の一環として民間企業と共同研究を実施している。</p> <p>[情報通信] 地域社会に密着した幅広い範囲を対象にシステム構築のみでなく情報機器と人との人間味豊かな関わりに重点を置いた研究を行う。</p>

機関名 豊田工業大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
工学研究科	名古屋市天白区久方2-12-1	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[環境] 文部科学省学術フロンティア推進事業を活用し、薄膜太陽電池、高効率太陽電池に関する基礎的研究、デバイス物理に基づく光・電子機能デバイ</p>

			<p>スの創成等の研究を行っている。</p> <p>[健康・医療・福祉] 文部科学省ハイテク・リサーチ・センター整備事業を活用し、ウェアラブルロボットを代表とする人間共存型ロボットの提案開発、及びシステム化技術に関する研究を行っている。</p> <p>[新産業技術] 文部科学省学術フロンティア推進事業を活用し、紫外光記録磁性薄膜先端材料の研究・開発や原子制御を行った磁性人工格子膜による超高密度磁気記録材料の研究を行っている。走査トンネル顕微鏡をはじめとした固体表面の構造、電子状態、組成などをナノレベルで観察する技術を有しており、文部科学省ハイテク・リサーチ・センター整備事業を活用し、顕微システムを使用したガス分子や金属原子との接触により新しい機能の発現を目的とした研究を行っている。</p> <p>[情報通信] 文部科学省ハイテク・リサーチ・センター整備事業を活用し、高機能シリカガラスの開発、光非線形ガラス材料の研究、超広帯域光増幅媒体の研究などのフォトニクス材料の研究を行っている。</p>
--	--	--	--

機関名 名城大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
理工学研究科	名古屋市天白区塩釜口1-501	「新産業技術」	<p>[新産業技術] ナノカーボン及びナノナイトライド分野での世界最高レベルの研究者を擁する中核的研究施設であり、文部科学省21世紀 COE プログラムを活用してナノ構造体の産業化のためのナノファクトリー創造センターの形成、ナノ構造体作製の世界的研究拠点形成に向けた研究開発を実施している。</p>
農学研究科	同上	「環境」、「新産業技術」	<p>[環境] 微生物の機能を利用した環境制御という分野において中核的研究施設であり、文部科学省ハイテク・リサーチ・センター整備事業を活用して環境問題の課題解決や新産業発展へ寄与することを目指している。</p> <p>[新産業技術] 微生物の機能を利用した新素材の実用化を目指している。</p>
総合研究所	同上	「環境」	<p>[環境] 環境耐性生物の開発において中核的研究を行っており、文部科学省ハイテク・リサーチ・センター整備事業を活用し、多数の遺伝子を導入した形質転換植物を作製し、その環境耐性機構の分子レベルでの解明を目指し学際的研究を推進している。</p>
薬学研究科	名古屋市天白区八事山150	「健康・医療・福祉」	<p>[健康・医療・福祉] 文部科学省ハイテク・リサーチ・センター整備事業を活用し、医薬品創製のためのシーズ分子探索、疾病の発症機構解明と治療法確立、及び医薬品副作用情報データベースの一層の充実を図る。</p>

機関名 南山大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
数理情報研究科 (2004年開設に向け申請中)	瀬戸市せいれい町27	「情報通信」	[情報通信] コンピュータネットワークの性能評価、ネットワークを利用する大規模ソフトウェア、機器組み込みソフトウェア、無線アンテナ、不正アクセス検出システム等について、中核的研究施設として理論面はもとより、実用を目指した研究開発を行っている。

機関名 中部大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
工学研究科	春日井市松本町1200	「新産業技術」、 「情報通信」	[新産業技術] 低コスト化と高効率化が可能なカーボン薄膜太陽電池の研究開発について中核的研究施設であり、革新的次世代太陽光発電システム技術研究開発(NEDO)等のプロジェクトを活用し実用化を目指している。 [情報通信] ネットワークシステム構築法、ネットワークサービス構築法について、実用化まで含めた一連の研究開発を関連企業と連携して進めることにより、成果を大学内に留めることなく近隣地域の情報通信産業の育成を図っていく。

機関名 愛知工業大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
工学研究科	豊田市八草町八千草1247	「環境」、「新産業技術」、 「情報通信」	[環境] [新産業技術] [情報通信] 21世紀を支えるための新材料開発に関する中核的な研究施設であり、環境、エネルギー、情報の3グループに別けて、研究を推進している。 環境分野では、環境保全改良に資する光触媒を始めとした材料の開発を行っている。 新産業技術分野では、二次電池の高性能化のための新規材料の開発等を行っている。 情報通信分野では、大容量で高速な有機光機能素子の実用化研究を行っている。

機関名 中京大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
情報科学研究科	豊田市貝津町床立101	「情報通信」	[情報通信] 人工知能の研究において中核的な研究施設であり、人工知能の研究開発のほかパターン情報処理、ハードウェアとソフトウェアの融合、音楽ソフトデザイン、デジタル信号処理、リアルタイム音楽ネットワーク、非リアルタイムのオーディオ信号処理技術における高度な技術の研究を行っている。

機関名 名古屋産業大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
環境マネジメント研究科 (2004年開設に向け申請)	尾張旭市新居町3255-5	「環境」、「情報通信」	[環境] 県内で最初にISO14001の認証取得した大学として、経営面や社会活動面からの環境問題の研究について中核的な研究施設である。環境省地球環

中)			境総合推進費のプロジェクトを活用して、循環型社会システムのあり方について提言を行っていく。 [情報通信] 産官学共同研究の一環としてGISを活用した地域防災計画の策定を行っている。
----	--	--	--

機関名 産業技術総合研究所(独立行政法人)

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
中部センター	名古屋市守山区下志段味穴ヶ洞 2266-98	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	[環境] 光触媒の研究について中核的な研究施設であり、これを利用した二酸化炭素の固定、水素エネルギー利用、排ガス浄化、調光ガラスの開発など地球環境問題の解決に幅広く取り組んでおり、光触媒及び植物成長剤においては既にベンチャー企業として企業化され、今後、更に進展が期待される。 [健康・医療・福祉] リン酸三カルシウムの人体への応用研究を行い人工骨や快適義歯床の開発を行っている。 [新産業技術] セラミックス、金属材料、複合材料などの新材料の創製を図り、高付加価値の材料設計を行っている。 [情報通信] コンピュータによるジルコニア等焼結体の分子構造の三次元シミュレーションを行うことにより、焼結以前に、構造、機械的強度、特質等が予測可能となり、今後の材料開発の進展が期待できる。
シナジーマテリアル研究センター	名古屋市守山区下志段味穴ヶ洞 2268-1	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	同 上
瀬戸サイト	瀬戸市西茨町 110 番地	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	同 上

機関名 理化学研究所(特殊法人)

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
バイオ・ミメティックコントロール研究センター	名古屋市守山区大字下志段味字穴ヶ洞 2271-130	「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	[健康・医療・福祉] バイオミメティックに関する研究の中核的研究施設であり、人間の生活を支援するため、人間とのやわらかい接触や未知の環境で柔軟に対応できる高機能ロボットを構築し、生活支援や介護での応用などを図る。 [新産業技術] 生物の動作原理・制御機能を工学的に模倣することにより、未知の状況に柔軟に対応する能力を持つ高機能ロボットの開発を行っている。 [情報通信] 複数のコンピュータによる分散制御、ネットワークを介した遠隔操作、高速画像処理、音源分離等の研究を行っている。

5 当該規制の特例措置の内容

次のような地域の状況を踏まえて、外国人研究者受入れ促進事業等に基づく措置と併せて、本事業に基づく特例措置を講じる。

これにより、特区内の大学、研究機関に勤務する外国人研究者が大幅に増加し、また、研究開発プロジェクトへの参加等を通じて、その研究成果を活用した新たな事業を特区内で行うことが考えられ、「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」の研究開発分野に関連する産業の発展が相当程度見込まれる。

【地域の状況】

本特区予定地域には、本県製造業の約4割を占める企業が立地しており、これらの企業は、自動車など製造業の一大集積の中で育まれた既存の「モノづくり」の技術とノウハウを生かして、「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」など、新分野の開拓に熱心である。

一方この地域には、10を超える理工系の大学院を有する大学が立地しているほか、その他の大学、官民の研究機関などが多数集積し、千数百人に及ぶ外国人研究者が滞在する国際的な研究開発ゾーンであり、これらの研究機関では、立地企業が求めている分野の先端技術研究を多く担い、また、そうした研究成果を実業に生かそうとする産学連携に対して意欲的である。

こうした、この地域の高度な「モノづくり」の技術とノウハウをベースとしつつ、地域の理工系大学や研究機関の技術研究の成果を導入して、新産業分野を育成していくことにより、地域の産業競争力の強化を図ることができる。

このためには、外国人を含む優秀な研究者の確保・育成を図るとともに、産学官が連携しやすい環境を整備し、研究交流、共同研究を促進することなどにより、より独創的な発想や優れた研究成果を生み出していくことが肝要であり、特区として認められることにより、この流れを加速することができる。

別紙 4

1 特定事業の名称

特定事業等に係る外国人の永住許可弾力化事業（505）

2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

下記4の施設に従事又は従事予定の外国人研究者

3 当該規制の特例措置の適用の開始の日

認定の日から

4 特定事業の内容

特区内に所在する大学、研究機関において、「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」の分野に係る外国人研究者の受入れを促進することにより、即戦力となる国際レベルの優秀な人材を確保し、受入れ先における研究開発の活発化とその成果を生かした新産業の創出を図る。

【事業に関与する主体】* この表に記載の施設は、各特定分野の研究開発に係る中核施設である。
機関名 名古屋工業大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
工学研究科	名古屋市昭和区御器所町	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[環境] エネルギーの再生・再利用あるいは循環を基本とする循環型スタイルの確立が社会の潮流となりつつある情勢を踏まえ、循環科学技術を創成し、循環型社会の実現に向けた研究に取り組んでいる。</p> <p>[健康・医療・福祉] 名古屋大学医学系研究科とも連携し、工学と医学の異分野融合により新しい学問領域の開拓と新産業の創出を推進しており、名古屋市鶴舞地区を中心に医学工学連携の中核的な役割を担っている。</p> <p>[新産業技術] 知的クラスター創成事業、21世紀COEプログラムを活用したナノテクノロジーの研究を推進し、新産業、ベンチャーの連鎖的発生環境の形成を目指し、併せて製造業全体の国際競争力の向上を図る。</p> <p>[情報通信] 人類社会環境の発展と調和を目指し先端的高度情報化の社会形成のための研究開発を行っているが、今後は、医療工学連携とともにユビキタスネットワーク社会の実現へと発展させていく。</p>
計測分析センター	同上	「新産業技術」	<p>[新産業技術] ナノテクノロジー研究のための精密測定機器及びその利用促進を行っており、中核的研究施設として地域との連携により地域全体の発展を目指している。</p>
共同研究セ	同上	「新産業技術」	<p>[新産業技術]</p>

ンター			リエゾニングについて地域の中核的研究施設としてナノ・バイオテクノロジー、エネルギー利用高度化材料技術、セラミックス等の新産業技術の開発を支援する。
極微デバイス機能システム研究センター	同上	「新産業技術」	[新産業技術] 極微細な構造をした新規半導体材料及び新機能デバイス・システムの研究開発、産業・生産技術についての中核的研究施設であり、その技術の確立を行う。

機関名 愛知県立大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
情報科学研究科	愛知郡長久手町大字熊張字茨ヶ廻間1522-3	「環境」、「情報通信」	[環境] 地理情報システムによる森林成長解析技術に関する中核的研究施設であり、里山の緑の保全システムの開発や里山の緑及び内湾域環境の保全システムの確立を行う。 [情報通信] 移動体通信と有線通信の融合システムの開発を行っている。

機関名 大同工業大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
工学研究科	名古屋市南区滝春町10-3	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	[環境] 自然エネルギーを活用した新しい都市型の風力発電の研究開発を行う。 [健康・医療・福祉] 高齢者施設の建設材料の脱臭効果を明らかにし、設計資料を整備する。 [新産業技術] 燃料電池研究について地域の核となる研究施設であり、平成14年度より固体高分子形燃料電池システム技術開発事業(NEDOの委託事業)の一環として民間企業と共同研究を実施している。 [情報通信] 地域社会に密着した幅広い範囲を対象にシステム構築のみでなく情報機器と人との人間味豊かな関わりに重点を置いた研究を行う。

機関名 南山大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
数理情報研究科 (2004年開設に向け申請中)	瀬戸市せいれい町27	「情報通信」	[情報通信] コンピュータネットワークの性能評価、ネットワークを利用する大規模ソフトウェア、機器組み込みソフトウェア、無線アンテナ、不正アクセス検出システム等について、中核的研究施設として理論面はもとより、実用を目指した研究開発を行っている。

機関名 中京大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
情報科学研究科	豊田市貝津町床立101	「情報通信」	[情報通信] 人工知能の研究において中核的な研究施設であり、人工知能の研究開発のほかパターン情報処

			理、ハードウェアとソフトウェアの融合、音楽ソフトウェアデザイン、デジタル信号処理、リアルタイム音楽ネットワーク、非リアルタイムのオーディオ信号処理技術における高度な技術の研究を行っている。
--	--	--	--

機関名 産業技術総合研究所（独立行政法人）

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
中部センター	名古屋市守山区下志段味穴ヶ洞 2266-98	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[環境] 光触媒の研究について中核的な研究施設であり、これを利用した二酸化炭素の固定、水素エネルギー利用、排ガス浄化、調光ガラスの開発など地球環境問題の解決に幅広く取り組んでおり、光触媒及び植物成長剤においては既にベンチャー企業として企業化され、今後、更に進展が期待される。</p> <p>[健康・医療・福祉] リン酸三カルシウムの人体への応用研究を行い人工骨や快適義歯床の開発を行っている。</p> <p>[新産業技術] セラミックス、金属材料、複合材料などの新材料の創製を図り、高付加価値の材料設計を行っている。</p> <p>[情報通信] コンピュータによるジルコニア等焼結体の分子構造の三次元シミュレーションを行うことにより、焼結以前に、構造、機械的強度、特質等が予測可能となり、今後の材料開発の進展が期待できる。</p>
シナジーマテリアル研究センター	名古屋市守山区下志段味穴ヶ洞 2268-1	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	同上
瀬戸サイト	瀬戸市西茨町 110 番地	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	同上

機関名 理化学研究所(特殊法人)

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
バイオ・ミメティックコントロール研究センター	名古屋市守山区大字下志段味字穴ヶ洞 2271-130	「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」	<p>[健康・医療・福祉] バイオミメティックに関する研究の中核的研究施設であり、人間の生活を支援するため、人間とのやわらかい接触や未知の環境で柔軟に対応できる高機能ロボットを構築し、生活支援や介護での応用などを図る。</p> <p>[新産業技術] 生物の動作原理・制御機能を工学的に模倣することにより、未知の状況に柔軟に対応する能力を持つ高機能ロボットの開発を行っている。</p> <p>[情報通信] 複数のコンピュータによる分散制御、ネットワークを介した遠隔操作、高速画像処理、音源分離等の研究を行っている。</p>

5 当該規制の特例措置の内容

次のような地域の状況を踏まえて、外国人受入れ促進事業等に基づく措置と併せて、本事業に基づく特例措置を講じる。

これにより、特区内の大学、研究機関に勤務する外国人研究者が大幅に増加し、また、研究開発プロジェクトへの参加等を通じて、その研究成果を活用した新たな事業を特区内で行うことが考えられ、「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」の研究開発分野に関連する産業の発展が相当程度見込まれる。

【地域の状況】

本特区予定地域には、本県製造業の約4割を占める企業が立地しており、これらの企業は、自動車など製造業の一大集積の中で育まれた既存の「モノづくり」の技術とノウハウを生かして、「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」など、新分野の開拓に熱心である。

一方この地域には、10を超える理工系の大学院を有する大学が立地しているほか、その他の大学、官民の研究機関などが多数集積し、千数百人に及ぶ外国人研究者が滞在する国際的な研究開発ゾーンであり、これらの研究機関では、立地企業が求めている分野の先端技術研究を多く担い、また、そうした研究成果を実業に生かそうとする産学連携に対して意欲的である。

こうした、この地域の高度な「モノづくり」の技術とノウハウをベースとしつつ、地域の理工系大学や研究機関の技術研究の成果を導入して、新産業分野を育成していくことにより、地域の産業競争力の強化を図ることができる。

このためには、外国人を含む優秀な研究者の確保・育成を図るとともに、産学官が連携しやすい環境を整備し、研究交流、共同研究を促進することなどにより、より独創的な発想や優れた研究成果を生み出していくことが肝要であり、特区として認められることにより、この流れを加速することができる。

別紙 5

1 特定事業の名称

国の試験研究施設の使用手続きの迅速化事業（704）

2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

特区内に所在する下記の国立専門学校

3 当該規制の特例措置の適用の開始の日

認定の日から

4 特定事業の内容

豊田工業高等専門学校では、高度かつ最先端の試験研究施設が整備されているほか、産学連携機関を拠点として、共同研究、受託研究等を一層促進することが期待されている。当該特例措置を適用して国の試験研究施設の利用の迅速化を図り、これらの施設の民間企業等の利用を促進することにより、「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」の分野に係る民間企業等の研究開発の高度化に資するとともに、大学等と民間企業等との研究交流を促進し、研究成果の事業化につなげる。

【事業に関与する主体】

機 関 名	施 設 名	所 在 地	研究開発の分野
豊田工業高等 専門学校	地域共同テクノセンター	豊田市栄生町2-1	「環境」、「健康・医療・福祉」、 「新産業技術」、「情報通信」

5 当該規制の特例措置の内容

「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」の分野に係る新産業創出に向けては、先端技術研究を行う大学・研究機関等と事業化のノウハウを有する民間企業等との共同研究が効果的であると考えられ、こうした研究は先端技術を扱うことから研究成果の実現にスピードが求められている。そのためには、大学等の高度かつ最先端の試験研究施設を煩雑な手続きを経ることなく迅速に利用できるようにすることが不可欠である。

本特区では、当該特定事業を適用することにより、上記研究施設等の利用に財務大臣への協議が不要となることから、使用手続きの迅速化が図られ、産学連携の促進による研究開発の高度化や研究成果の事業化が期待できる。

別紙 6

1 特定事業の名称

国の試験研究施設の使用の容易化事業（705）

2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

特区内に所在する下記の国立専門学校

3 当該規制の特例措置の適用の開始の日

認定の日から

4 特定事業の内容

豊田工業高等専門学校では、高度かつ最先端の試験研究施設が整備されているほか、産学連携機関を拠点として、共同研究、受託研究等を一層促進することが期待されている。当該特例措置を適用して国の試験研究施設の利用の容易化を図り、これらの施設の民間企業等の利用を促進することにより、「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」の分野に係る民間企業等の研究開発の高度化に資するとともに、大学等と民間企業等との研究交流を促進し、研究成果の事業化につなげる。

【事業に関与する主体】

機関名	施設名	所在地	研究開発の分野
豊田工業高等専門学校	地域共同テクノセンター	豊田市栄生町2-1	「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」

5 当該規制の特例措置の内容

「環境」、「健康・医療・福祉」、「新産業技術」、「情報通信」の分野に係る新産業創出に向けては、先端技術研究を行う大学・研究機関等と事業化のノウハウを有する民間企業等との共同研究が効果的であると考えられ、こうした研究は先端技術を扱うことから研究成果の実現にスピードが求められている。そのためには、大学等の高度かつ最先端の試験研究施設を煩雑な手続きを経ることなく迅速に利用できるようにすることが不可欠である。

本特区では、当該特定事業を適用することにより、上記研究施設等の使用許可の範囲が拡大されることから、民間利用の促進が図られ、産学連携の促進による研究開発の高度化や研究成果の事業化が期待できる。